

九州ミニリーグ競技実施要項

(シニア競技用)

1. 競技規定

現行の公益財団法人日本バスケットボール協会規則に則る。ただし、一部は今大会の規定に従って実施する。

2. 競技時間

(1) 28日(土)2試合、29日(日)1試合 (体験教室の参加者と交流試合予定)

①10分の2クォーターで実施し、**時間は流す**。ハーフタイムは3分とする。

②フリースロー、タイムアウト、交代の場合は時間を止める。それ以外に、審判から指示があった場合も止める。

③タイムアウトは前半に1回、後半に1回とそれぞれ60秒とする。

④試合前のアップは10分間とする。

⑤最終クォーター終了時点で同点の場合は、フリースローにより勝敗を決める。

1Q	ハーフタイム	2Q
10分	3分	10分

3. 試合球

大会公式試合球と練習球は、モルテン社製ボールを使用する。

4. ユニフォームに関する規定

- (1) 組合せ表において、左側に記載されたチームは濃色ユニフォーム、右側に記載されたチームは淡色（白色）ユニフォームを着用するものとする。また、組合せ表の左側のチームは、テーブル・オフィシャル席に向かって左側のベンチを使用し、右側のチームは右側のベンチを使用する。
- (2) 番号は0番又は00番から99番まで使用できる。
- (3) 色、形とも統一されたユニフォームを着用すること。(ビブスは不可)
- (4) ユニフォームは濃・淡(白色が望ましい)の2着を必ず用意する。特例として、ユニフォームの数が足りない等は、本部に連絡する。
- (5) アンダーウェアは、ユニフォームからはみ出さないこと。シャツからはみ出してしまう上半身用および腕用のセンター用のもの（パワーサポーター、パワースリーブなど通常のセンターも含む）を着用してもいいが、出来れば、白・黒色の統一とする。

- (6) パンツの下にパンツより長いパンツ様のもの（アンダーガーメント、パワータイツなど）をはいても良いが、白・黒色の統一とする。
- (7) サポーター（下着と分離しているもの）は着用可能だが、繋がっている着衣（スパッツ等）は着用不可とする。
- (8) チーム参加エントリーシートの中にユニフォームの濃淡の色を登録する。基本的にJBAの規定に準ずるもの。

5. H1 Ruleについて

- (1) 聴者の選手は、H1 Ruleのルールで対応する。※競技参加の聴者を1名とする。
- (2) 聴者の選手は、手首またはユニフォームの前面の見えるところにカラーテーピングを貼る。

6. 試合開始時刻について

- (1) 原則として組合せ表の時刻通りに開始する。
- (2) 前の試合が遅れた場合等は、ゲームの開始前に3分（決勝戦及び3位決定戦は10分）のインターバルをおく。
- (3) 日時により試合開始が異なるので、十分に確認を行い、前のゲームの最終クオーターには当該コートに待機する。

7. 没収について

試合開始時間に5名揃っていないチーム、また、各種事項や。注意事項、主催者からの指示を従わない場合や承認書を守らない場合は、その選手が所属するチームの試合は没収とする。

8. その他

- (1) 閉会式およびコートでのアップ時には、チームの服装の色を可能な限り統一（または同色系）すること。
- (2) タトゥーがある場合は、テープやサポーター等を使用し、外部から見えないようにすること。
- (3) 選手は、競技中に相手を傷つけるおそれのある物（指輪、ピアス、ヘアピン等）は着用できない。
- (4) デフバスケットボール競技大会の国際ルールに基づき、会場全体における補聴機器の使用は原則として禁止する。ただし、緊急時や安全確保等、やむを得ない場合には、大会事務局および体育館運営の判断により、例外的に認める場合がある。
- (5) 大会にエントリーされた者および選手以外は、いかなる理由があってもベンチに入ることはできない。
- (6) 受付終了後のエントリー内容（背番号等）の変更は、一切認めない。